

院長ごあいさつ



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター院長

土肥 直文

皆さま、こんにちは!寒さの厳しい毎日が続いております。風邪など引かれませんように、体調管理にはくれぐれも気をつけてお過ごしください。

この度、「ファミリー～みむろ～」の最新号が出来上がりました。今号では「乳がんラジオ波焼灼療法～切らずに治す最新治療～」と題し、乳がんに対する新しい治療法を中心とした内容をご案内しております。このラジオ波を用いた新しい乳がん治療を奈良県で初めて当センターが提供できるようになったことは、乳腺外科の高島勉部長の尽力の賜物にほかならないと院長として大変嬉しく、また誇りに思っております。西和医療センターは、奈良県立医科大学の関連病院であり、ほぼすべての診療科の医師は奈良県立医科大学の医局から派遣されています。しかし、奈良県内には乳腺専門医がとても少ない上に、奈良県立医科大学附属病院からの派遣が難しい状態が続いていました。そのような中、3年前に当時、大阪公立大学医学部附属病院（前：大阪市立大学医学部附属病院）で乳腺外科の病院教授をしていた高島勉先生が当センターに赴任してくれたことは、我々にとってまさに奇跡的な出来事でした。高島先生は、世界的ながん専門誌である“Lancet Oncology”に主著者として論文が掲載されるなど、日本を代表する乳腺治療のオピニオンリーダーでもあります。高島先生の赴任以来、西和地域には最新の乳腺外科治療を提供できる体制が整い、今では多くの若い医師たちが乳腺外科を目指すようになっていきます。このファミリーの記事が、一人でも多くの乳腺に関する症状で悩んでおられる方々の手に届くことを祈りつつ、ごあいさつとさせていただきます。乳腺に関する症状で悩んでいる方はもちろん、そうでない方もこの機会に是非、関心を持っていただき、自宅に持ち帰ってじっくりお読みください。

令和8年1月